

第十部 ヒゼキヤ王治世第 14 年の危機

イザヤ 36 章～39 章

□第十部のアウトライン

- | | |
|-------------------|-----------|
| A) アッシリア軍の侵攻とその壊滅 | 36 章～37 章 |
| B) ヒゼキヤ王の病気 | 38 章 |
| C) バビロンからの使者 | 39 章 |

並行箇所：Ⅱ列 18：13～20：19、Ⅱ歴 32：1～31

注意：時間的な順序は、B ⇒ A ⇒ C

□「C) バビロンからの使者」のアウトライン（イザヤ 39 章）

1. Ⅱ歴代誌とイザヤ 38 章から見る、時間的順序
2. ヒゼキヤ王に、バビロンからの使者が来訪（1～2 節）
3. 使者が帰ったあと、預言者イザヤがヒゼキヤ王に問う（3～4 節）
4. 神のさばきについての宣告（5～7 節）
5. ヒゼキヤ王の悔い改め（8 節）
6. Ⅱ歴代誌から見る、ヒゼキヤ王の高慢の罪と悔い改めの経緯

C) バビロンからの使者

イザヤ 39 章

1. Ⅱ歴代誌とイザヤ 38 章から見る、時間的順序
 - (1) ヒゼキヤ王の病気

Ⅱ歴 32：24 そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。彼が主に祈ったとき、主は彼に答え、しるしを与えられた。

- しるし・・・Ⅱ列 20：11 日時計の影が十度戻された＝太陽が逆行した

イザヤ 38：4～8 そのとき、イザヤに次のような主のことばがあった。「行ってヒゼキヤに告げよ。『あなたの父ダビデの神、主はこう言われる。わたしはあなたの祈りを聞いた。あなたの涙も見た。見よ。わたしはあなたの寿命にもう十五年を加える。わたしはアッシリアの王の手からあなたとこの都を救い出し、この都を守る。次のことが、あなたへの主からのしるしである。主は約束したこのことを成就する。見よ。わたしは、アハズの日時計に落ちた時計の影を十

度^{あと}後に戻す。』すると、日時計に落ちた日が十度戻った。

- ヒゼキヤが病気的时候は、アッシリアの脅威が迫っていたときでもある。主はヒゼキヤの病を癒やすこととともに、ヒゼキヤ王とエルサレムをアッシリアから守るとも約束した。

(2) アッシリア軍の侵攻とその壊滅（イザヤ 36～37 章）

(3) バビロンからの使者の来訪

Ⅱ歴 32：31 …バビロンの首長たちが、この地に示されたしるしについて調べるために彼のもとに使節を遣わした…

- 太陽の動きにきわめて異常な出来事が起きたこと、続いてユダの地にてアッシリア軍が一夜にして壊滅したことを知り、バビロンの首長たちがユダのヒゼキヤ王のもとに使者を遣わした。

2. ヒゼキヤ王に、バビロンからの使者が来訪（イザヤ 39 章 1～2 節）

1～2 節 そのころ、バルアダンの子、バビロンの王メロダク・バルアダンは使者を遣わして、手紙と贈り物をヒゼキヤに届けた。彼は病気だったが元気がなった、と聞いたからである。ヒゼキヤは彼らを喜び、宝庫、銀、金、香料、高価な油、一切の武器庫、彼の宝物倉にあるすべての物を彼らに見せた。ヒゼキヤがその家の中、および国中で、彼らに見せなかった物は一つもなかった。

- そのころ…アッシリア軍の侵略からかろうじて助かった後。侵略は、治世第 14 年（紀元前 701、702 年頃）。バビロンの使者が来たのは、その年のうちか、翌年くらいであろう。
- 彼は病気だったが…アッシリア軍の攻撃を受ける直前のこと。重篤な状態になったが、ヒゼキヤは泣いて祈り、主のことばを受けた。「見よ、わたしはあなたを癒やす。あなたは三日目に主の宮に上る。わたしは、あなたの寿命にもう 15 年を加える。」（Ⅱ列 20：5b～6a） 病気とアッシリア軍侵攻は彼の治世第 14 年の出来事。あと 15 年が加えられたので、彼の在位期間は 29 年間。「彼は 25 歳で王となり、エルサレムで 29 年間、王であった。」（Ⅱ列 18：2a） よって、病気だったときの彼は 39 歳。

3. 使者が帰ったあと、預言者イザヤがヒゼキヤ王に問う（3～4 節）

3～4 節 預言者イザヤはヒゼキヤ王のところに来て、彼に尋ねた。「あの人たちは何と言いましたか。どこから来たのですか。」ヒゼキヤは「遠い国、バビロンから私のところに来ました」と答えた。イザヤは言った。「彼らはあなたの家で何を見たのですか。」ヒゼキヤは答えた。「私の家の中のすべての物を見ました。私の宝物倉の中で彼らに見せなかった物は一つもありません。」

4. 神のさばきについての宣告（5～7 節）

5～7 節 イザヤはヒゼキヤに言った。「万軍の主のことばを聞きなさい。見よ。あなたの家にある物、あなたの父祖たちが今日まで蓄えてきた物がすべて、バビロンへ運び去られる日々が来る。何一つ残されることはない —— 主は言われる ——。また、あなたが生む、あなた自身の息子たちの中には、捕らえられてバビロンの王の宮殿で宦官となる者がいる。」

- あなたが生む、あなた自身の息子たち・・・この預言を受けたときはヒゼキヤ 39 歳か 40 歳、ヒゼキヤにはまだ子がいない。彼の子マナセが生まれるのは 42 歳のとき【←Ⅱ列 20：21～21：1 ヒゼキヤが死んだのは 54 歳、このときマナセは 12 歳】
- 捕らえられてバビロンの王の宮殿で宦官となる者がいる・・・ヒゼキヤの子孫の中に、バビロンに連れて行かれ、バビロンの王の宮廷で宦官となって仕える者が出るという預言。
 - その成就是ダニエル。彼は王族であった。
 - バビロンの王は、宦官の長アシュペナズに命じて、属国としたユダ王国の王族か貴族の中から数人の少年を選んで連れて来させ、3 年間養育ののち、宮廷に仕えさせるかどうか試験をした（ダニ 1：3～20）
 - ダニエルがバビロンに連れていかれたのは、「ユダの王エホヤキムの治世の第 3 年」（ダニ 1：1）とあり、紀元前 605 年。ヒゼキヤに預言が示されてから、約 100 年後のことである。

5. ヒゼキヤ王の悔い改め（8 節）

8 節 ヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが告げてくれた主のことばはありがたい。彼は、自分が生きている間は平和と安定があるだろう、と思ったのである。」

- ありがたい・・・日本語に訳されて「ありがたい」とあるが、ヘブル語原文の直訳は、「良い」である。主のことばは良い、正しいと認めてへりくだ

っているのである。

- 彼は、自分が生きている間は平和と安定があるだろう、と思った・・・自分が生きている間さえ平和であればいいと自分本位な気持ちであった、という意味ではない。彼は自分の高慢の罪に気づき、悔い改めるとともに、神のさばきが本来は自分の代に下るべきなのに、それが止められたことを感謝したのである。

6. II歴代誌から見る、ヒゼキヤ王の高慢の罪と悔い改めの経緯

- (1) 病も癒され、アッシリアの侵略からも守られたのに、主の恵みに応えようとせず、かえってその心を高ぶらせてしまった。高ぶりのきっかけは、アッシリア軍に勝利して周辺諸国から尊敬を集めたことによる。

II歴 32：23 多くの人々が、主へのささげ物やユダの王ヒゼキヤに贈る選りすぐりの品々を携えて、エルサレムに来るようになった。この時以来、ヒゼキヤはすべての国々から尊敬の目で見られるようになった。

- (2) 有頂天になっていたちょうどそのとき、バビロンの使者が来て、ますます高ぶり、宝物倉の中の物をすべて見せて自慢した。

II歴 32：27～31 ヒゼキヤは非常に多くの富と誉れを手にした。・・・(中略)・・・このヒゼキヤこそ、上方にあるギホンの水源をふさぎ、ダビデの町の西側に向かってまっすぐに流した人である。ヒゼキヤは、そのすべての仕事を成し遂げた。ただし、バビロンの首長たちが、この地に示されたしるしについて調べるために彼のもとに使節を遣わしたとき、神は彼を試みて、その心にあることすべてを知ろうとして彼を捨て置かれた。

- (3) ヒゼキヤが悔い改めてへりくだったので、神の怒りはヒゼキヤの時代には臨まなかった。

II歴 32：25～26 ヒゼキヤは、自分に与えられた恵みに応えようとせず、かえってその心を高ぶらせたので、彼の上に、また、ユダとエルサレムの上に御怒りが下った。しかし、ヒゼキヤがその心の高ぶりを捨ててへりくだり、彼もエルサレムの住民もそうしたので、主の御怒りは、ヒゼキヤの時代には彼らの上に臨まなかった。